

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	スタッフやホーム長の異動もあり、自治会との交流も遅れている。 これから地域との交流を深めて行く。	早い段階での自治会の参加。 地域との交流を深める。	地域の行事を把握し、参加可能ならばスタッフ、ホーム入居者数名と行事に参加。 1月14日、餅つきを行い、。民生委員の方のアドバイスを受け行事び取り組んだ。	6ヶ月
2	5	以前は玄関施錠はしていなかったが帰宅願望が強い方が入居した事により施錠をするようになった。 年末にその方が脱荘した事により、見守りの重要性が問われている。	帰宅願望が強い方への見守りの強化。 施錠を出来るだけしない方向へ持って行く。	その方の徘徊が出たらスタッフが必ず声かけを行い対応する。 すぐの施錠解除は難しいが一日の内に数時間は解除し、様子を見ていく。	3ヶ月
3	10	介護計画の全体の見直しは三ヶ月ごとに行われているが、変化があった場合の見直しの記録がされていない。	入居者の状態変化があったらその都度見直して行く。	一カ月ごとのモニタリングをしていく。	3ヶ月
4	4	市役所とは積極的に連絡は取っていない。	市と協力関係を築けるよう取り組む。	最終的には市と情報共有、連携体制を築く。 まずは市に顔を出して名前と顔を覚えてもらう事から始めたい。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。